

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容

本校では、毎年5年生が中心となり農園に植えられた柿の木の栽培をしている。1年間を通し、世話や観察を行う。また、柿にちなんだ内容で調べ学習をし、その成果を下学年に発表をする。

収穫した柿は、校内で販売をする。安心・安全な柿を収穫するため、環境への配慮は欠かせない。

ア 2月 柿の引継会

4年生は、旧5年生から柿栽培についての引継を受ける。手始めに柿の木の幹に付着する苔を取ったり、不用の枝の剪定を行ったりした。この活動を通し、1年間の活動への見通しをもつと同時に、環境への配慮の必要性を少しずつ感じ取っていった。

イ 4月 育てる柿の木との出会い

農園に植えられた柿の木は20本。それぞれを子どもたちが分担し、自分の木として世話をする。この出会いにより、子どもたちは柿の木に愛着をもち始めていった。

ウ 5月 摘蕾

栄養豊富でおいしい柿に育てるため、摘蕾を行い開花する花の数を減らしていく。JAの職員や保護者の協力のもと、子どもたちは慎重に作業を進めていった。



【摘蕾の様子】

エ 7月 摘果

栄養豊富でおいしい柿に育てるため、摘果を行い、さらに身の数を制限していく。この時期には柿も色づき始め、収穫時の期待が高まっていく。間近に迫った収穫に向け、さらなる努力を決意していった。

オ 9月 お絵かきプロジェクト

柿に紙袋をかぶせ、収穫の時期を遅らせる。そして収穫した柿を石巻市の復興支援の物資として提供した。平成26年度より実施している活動である。柿を通し、子どもたちの視野は遠方へと広がりをもち始めた。



【袋掛けの様子】

カ 10月 柿の販売

柿の実を収穫し、それを校内で販売する。自分たちが世話をし、収穫した柿の実だからこそ、自信をもって販売をしていた。中には、五角形をした「合格柿」も混ざっていたりする。

これらの活動を終え、下学年への引継の準備を行っていく。玉川の柿栽培は、こうして脈々と受け継がれていく。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）